令 和 ６ 年 度

事 業 報 告 書

千尋会

社会福祉法人 千尋会

目　　次

○社会福祉法人 千尋会 事業報告
1.　総評 ····· 4

○千尋会 本部企画室····· 4
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　地域貢献活動
4.　理事会
5.　評議員会
6.　監査の実施
7.　女性の活躍の状況
8.　有給休暇取得率
9.　離職率
10.　就労支援
11.　実習生の受入れ状況
12.　職員の採用、退職の状況及び職員配置状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）
13.　防災訓練の実施状況
14.　研修・資格試験等合格者数
15.　申請書類関連(変更届・指定更新・加算等)

○千尋会 生活支援体制整備事業（南風原町受託事業）····· 22
1.　統括
2.　生活支援体制事業（SC 業務）

○千尋会 食支援室 ····· 25
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　誤嚥性肺炎入院年間比率
4.　加算算定状況
5.　CMS 通信
6.　週間献立表
7.　Sognarae　Cofe 報告

○介護老人福祉施設　嬉の里····· 31
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

○短期入所生活介護事業所 嬉の里　デイシス····· 40
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

○特定有料老人ホーム むつみ寮·· 45
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

○通所介護事業所　嬉の里デイサービスセンター······································· 53
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績
4.　行事・レクリエーション

○嬉の里居宅介護支援事業者·· 57
1.　総括
2.　重点実施事項の取組と成果
3.　サービス提供実績

社会福祉法人 千尋会 事業報告

１．総評

施設基本方針に沿って､利用者の意思やケアの選択を尊重し､それぞれが望む自分らしい生活が続けられるよう個々の価値観や習慣を理解し､利用者が満足していただけるケアサービスに取り組みました。

体の健康はお口からをテーマに口腔ケアを重視し､高齢者の口腔機能のメカニズムを理解する上で、利用者の状態に応じた口腔ケアと口腔機能維持向上に取り組み､誤嚥性肺炎の入院者数の減少に繋がりました。

介護 DX（デジタルトランスフォーメーション）ICT 機器等を利活用し、施設における課題を分析しながら、職員の負担軽減、離職防止に努め、働き方改革を進めると同時にケアの質改善に取り組み､介護事故の減少にも繋げることができました。DX を活用した働き方改革が高く評価され､沖縄県で初の厚生労働大臣賞（奨励賞）を受賞することができました。

次年度は、地域に根差した法人を目指し、在宅部門の利用者獲得に向けて､サービスの見直しや田崎グループ関連施設、地域との連携強化を図ります。

社会福祉法人 千尋会 本部企画室

１.総括

今年度は「職層ごとの育成システムの構築」「新規事業に向け土台作り（人材の採用定着)」「企業認定取得、法人ブランド化へ向けプラン作り」を目標に取り組みました。人材育成では、職層ごとの職務内容、求める資質能力について研修体制を整え、新役職者向けに研修の実施、介護職員の仕事力考課については現場に即した内容に改訂を行いました。

年間を通じたコミュニケーションマナー研修では、接遇の他、人材育成にもフォーカスし少人数開催し、育成に関する不安の声のフィードバックし育成強化に努めました。

職員がやりがいをもち楽しく働き続けられるよう、職員アンケートを基に研修企画や福利厚生の提案に取り組みました。また「SDG s 宣言」し企業認定取得に向けアクションを起こしました。

千尋会の取り組み(IoT、介護ロボット、生産性向上への取組み)が評価されたことで、県内外から注目され施設見学、マスコミ等の取材機会も増え知名度も向上、SNS では、フォロワー1,900 人を達成しました。

２.重点実施事項の取組と成果

（１） 人材の確保・定着に向けた働きやすい環境づくり

① Place peace（心落ち着ける場所）プラン（5 月）

- ファミリーハウスがじゅまるの家に滞在している方への企画。滞在期間が長期になるため、気分転換やリラックスできる場所として Sognare Café 利用とエステ施術を低価格で提供。

② 自動販売機商品を一部福利厚生対象へ（8 月）

- 職員の満足度アップと快適に働く環境の一環として、職員が好む商品を 100 円～120 円に設定し販売。

③　職員アンケート実施（9 月）

- 職員がやりがいをもって楽しく働き続けられるよう意識調査を行い、研修や企画・アイデア、環境整備に取り組んだ。
  - ✓ 教育担当者の配置
  - ✓ 新職員紹介シートの作成・貼りだし
  - ✓ タブレットの導入
  - ✓ 事故報告書の書き方について勉強会実施
  - ✓ アニバーサリー休暇（ちょいと休暇を変更）※令和 7 年４月実施
  - ✓ ウェルネス休暇（生理休暇を変更）　※令和 7 年４月実施
  - ✓ 第二駐車場の拡張工事
  - ✓ 職員休憩室、フリースペースを 2F、3F に整備

④　人材育成システムの構築

- 人事考課の見直し、改訂
  職員の有する能力がより反映され、考課する際の考課者の負担軽減を図れるよう、内容の改訂を行いました。サービスの質の標準化が出来ることでプロとして安定したケアの提供と、千尋会が目指している IOT や介護ロボット・福祉用具の使用もしっかり行える職員を育成できる内容にした。

- 個別面談表の見直し改訂
  面談者が質問しやすく、また職員の意見を引き出しやすいような内容に修正した。個人育成カルテを連動させることで各人に必要な研修・勉強会の受講が出来、計画的に成長していけるようなシステム作りに取り組んでだ。

- 新職員の定期的なフォローアップ面談
  入職後、３か月、６か月で定期的な面談を実施。その時々で感じる不安や疑問を払拭できるよう、所属長や関係職員と内容を共有し連携することで、心理的安全性が高まり安心して働ける環境づくりに取り組んだ。

- 昇任人事、役職者研修体制の構築
  昇任人事、新リーダー等を対象に、役職ごとの研修体制を構築した。研修では、職務内容と職層ごとの心構え、求められる能力や理念の意義の再確認など、求められるリーダー像を共有し組織体制の土台作りに取り組んだ。

- SUP 研修実施
  アグレアーブル印象美人あらかき咲美さんを講師に招き、各所属長(主任)、業務リーダー、総務を対象者として、接遇、人材育成研修を実施した。
  - ✓ 所属長：メディアで注目されている自法人を客観視し「人が育つ環境づくり」「信頼関係と組織強化」「組織全体の活性化」に取り組んだ。
  - ✓ 業務リーダー：「目的意識を持ったコミュニケーション」「面談時のポイントや日頃からの観察点」「自部署の課題からユニット目標設定の仕方」について学び、自部署、ユニットの次年度の目標設定を行い具体的な行動レベルまで落とし込む手法を学んだ。

- ✓ 総務：総務として自身の役割を意識すること、施設のイメージを左右する「施設の顔」として意識、よくある電話対応や、来客対応を例に対応や所作を学んだ。

- 法人間交換研修（R6.10～実施）
  緊急時に事業の継続・早期復旧を図ること、平時からの協力体制を構築することを目的に実施した。千尋会では、17 名（介護 15 名、PT1 名、OT1 名）を受け入れ実施した。

⑤ 年休の 1 時間単位取得　※令和 7 年 4 月実施

⑥ ND ソフトモデルヒアリング事業開始
- 介護記録ソフトほのぼののヒアリングを実施。運用状況確認し操作性、効率性の向上に取り組んだ。令和 6 年度 6 回実施した。

⑦ ペーパーレス化の取組み
- 料金表を QR コードで読み取れるようにし、ご家族へ読み取りの案内をした。
- 令和 7 年 4 月より利用請求、領収書の発行をアプリケーションでの配信に移行。
  - ✓ アプリ登録者（103 名/251 名　41.0%）※併用者含む。

⑧ ショートステイ送迎手当支給方法変更
- 送迎担当者への支給から実績支給へ変更した。

⑨ 職員制服の変更　※令和 7 年度夏頃変更予定
- 職員の制服をリフレッシュした。

⑩ SDG s 宣言
- 次年度企業認定を取得するためのアクションとして、ポスター作成し職員への意識付けを図った。
  - ✓ 階段利用ポスター
  - ✓ 電気使用に関する POP

⑪ 施設見学・情報交換の実施状況
- 千尋会の取り組み(IoT、介護ロボット、生産性向上への取組み)が評価され県内外から施設見学、意見交換会の依頼が増えた。※13 件

⑫ マスコミ、メディア等　※9 件
- ✓ 沖縄タイムス(移乗介護ロボット)
- ✓ 沖縄県「人とロボット、理想的な協働について」　YouTube
- ✓ 求人誌ルーキー表紙
- ✓ 介護職の新常識！働きやすさの秘密　YouTube
- ✓ 開邦高校絵画展示　12/5～3/13
- ✓ 首里石鹸 CM 撮影
- ✓ 介護施設アワード 2023（年間大賞受賞）
- ✓ 厚生労働大臣表彰奨励賞

⑬　地域交流訪問

- ✓　みつわ保育園
- ✓　ダンススタジオ Luana
- ✓　なのはな保育園
- ✓　かなち子供会
- ✓　学童クラブ なかよし広場

3.地域貢献活動

（1）　専門職連携ネットワークはえるんの取り組み

- ●　住み慣れたまちで楽しく安心して暮らせるように、専門職が地域に出向き健康維持のサポートを行っています。

①　はえばるふるさと博覧会　福祉まつり参加　（R6 年 11 月 2 日、3 日）

- ●　『見て！やって！深まる！福祉の輪コーナー』
  体験ブースを設け、2 日間のべ 950 人の来場者があった。
  ・介護ロボット体験・車いす体験・認知症のチェックと訓練・SC カフェ
  ・おむつ交換体験・福祉機器展示、相談・嚥下体験・介護エステ

②　第 3 回シニアライフアップ講座　学びてぃあ　開催（R7 年 1 月 24 日）

- ●　4 地域 16 名のボランティアさんが参加し、専門職による出前講座を体験。
  （宮城、新川、山川、兼本ハイツ）

③　福祉学習　車いす体験　翔南小学校 6 年生　（R7 年 1 月 21 日）

- ●　車いすの操作方法を学び、段差やスロープ、階段での介助をする人、される人を体験。

④　総合的な福祉学習　南風原町の福祉を学ぶ　授業：(R6.10.4)体験：(R6.10.24)

- ●　総合的な福祉の学習として、南風原中学校で南風原町の福祉を紹介した。授業後は、生徒が選択し希望の福祉施設へ体験授業。1 年 4 組 15 名を受け入れ嬉の里で福祉体験を行った。

⑤　地域サポート協力事業所

- ✓　南風原町社会福祉協議会
- ✓　サマリヤ人病院　大名の丘
- ✓　介護老人保健施設 嬉野の園
- ✓　介護老人保健施設 かりゆしの里
- ✓　キャンナス沖縄
- ✓　一般社団法人 美令和会
- ✓　社会福祉法人 千尋会

（２） 出前講座　南風原町内の公民館　　28 件（11 地域）

月	地域	内容
4	山川　あみの会	リズム体操
	兼本ハイツ　フレンドの会	健康体操
	兼城　ゆいまーる会	笑いヨガ
5	兼本ハイツ　フレンドの会	脳トレ　体操
	与那覇　うらしま	笑いヨガ
	宮平　なーでーらの会	健康体操
6	兼本ハイツ　フレンドの会	セルフフットケア
	山川　あみの会	笑いヨガ
7	神里　ゆうなの会	リズム体操
	兼本ハイツ　フレンドの会	健康体操
	与那覇　うらしま	脳トレ　レク
8	北丘ハイツ　階の会	健康レク（盆踊り練習）
	兼城　ゆいまーる会	健康体操
9	与那覇　うらしま	健康体操
10	山川　あみの会	棒体操　脳トレ
	宮平　なーでーらの会	健康体操　リズム体操
11	第二団地　さわやかの会	笑いヨガ
	北丘ハイツ　階の会	笑いヨガ
	与那覇　うらしま	健康体操
12	兼本ハイツ　フレンドの会	健康体操
	山川　あみの会	健康体操
R7.1	与那覇　うらしま	音楽体操　ゲーム
	宮平なーでーらの会	健康体操
2	兼城　ゆいまーる会	健康体操
	津嘉山　ティガネー会	体操 健康ゲーム　　笑いヨガ
3	山川　あみの会	リズム体操
	宮平　なーでーらの会	健康体操
	北丘ハイツ 階の会	お守り作り

階段を利用しよう

1階～2階往復で約4Kcal
1階～4階往復で約10kcal
※階段1段の消費カロリーは
上り100カロリー、下り50カロリーです

千尋会はSDGsの実現に取り組んでいます

MITSUBISHI ELECTRIC
26.0℃
メニュー
戻る
決定
運転
停止
必要な電気を必要なだけ
1ユニットあたり
毎日1時間の消灯を心掛けると
1年で約6,000円の節約、
CO2の72kg削減となります！
GOALS
千尋会はSDGsの実現に取り組んでいます
TOA
24h換気
OFF

４.理事会

① 第 138 回 令和 6 年 5 月 10 日(月)

- 第 1 号議案 監事の退任、新監事候補者の推薦(案)について
- 第 2 号議案 第 62 回評議員会招集について

② 第 139 回 令和 6 年 6 月 3(月)

- 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告(案)について
- 第２号議案 令和 5 年度決算報告(案)について
- 第３号議案 定時評議員会招集(案)について

③ 第 140 回 令和 6 年 12 月 9 日(月)

- 第 1 号議案 令和 6 年度第一次補正予算(案)について
- 第 2 号議案 評議員候補者の推薦(案)について

④ 第 141 回 令和 7 年 3 月 10 日(月)

- 第 1 号議案 令和 6 年度 補正予算(案)について
- 第 2 号議案 令和 7 年度 事業運営方針(案)について
- 第 3 号議案 令和 7 年度 予算(案)について
- 第 4 号議案 規程の変更(案)について
- 第 5 号議案 第 65 回評議員会招集について

５.評議員会

① 第 62 回 令和 6 年 5 月 21 日(火)

- 第 1 号議案 監事の退任、就任(案)について

② 第 63 回 令和 6 年 6 月 18 日(火)

- 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告(案)について
- 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告(案)について

③ 第 64 回 令和 7 年 3 月 24 日(月)

- 第 1 号議案 令和６年度 補正予算(案)について
- 第 2 号議案 令和７年度 事業運営方針(案)について
- 第３号議案 令和７年度 予算(案)について

６.監査の実施

① 記帳監査……毎月 1 回
② 現金･預金実査…毎月 1 日
③ 内部経理監査……令和 6 年 5 月 10　日
④ 監事決算監査……令和 6 年 5 月 29　日

７.女性の活躍の状況

（１）リーダー・主任級にある者に占める女性の割合

- 男性:47%
- 女性:53%

（２）管理職に占める女性の割合

- 男性:66.6%
- 女性:33.4%

８.有給休暇取得状況

令和６年度有給休暇取得日数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
本部企画室	4	4	4	12	9	5	7	1	3	3	4	0	56
総務	20	10	8	17	3	5	1	9	6	0	4	2	85
デイサービス	13	29	23	26	18	20	20	8	8	10	7	17	199
相談室	4	3	6	8	7	5	2	9	1	2	2	0	49
食支援室	7	5	5	8	9	5	2	4	5	7	12	4	73
居宅	2	5	5	12	14	2	1	0	1	0	2	2	46
看護部	11.5	9.5	37.5	9	17	8.5	9	12.5	18	19.5	6	16	174
むつみ寮	5	11	17	14	4	7	14	5	5	8	8	12	110
営繕	4	15	9	6	3	1	3	6	4	2	1	3	57
リハビリ	2	0	3	10	1	0	2	3	2	7	12	0	42
養護課	50.5	15	39.5	58	48	53.5	49	54	29.5	37.5	47.5	51	533
有給取得日数　合計	123	106.5	157	180	133	112	110	111.5	82.5	96	105.5	107	1424
有効人数※1	117	115	111	109	109	107	111	113	111	113	112	112	111.7
有給取得日数	1.05	0.93	1.41	1.65	1.22	1.05	0.99	0.99	0.74	0.85	0.94	0.96	12.75

※1　有給休暇が発生している合計人数

９.離職率（介護職員）

年　度	令和５年度	令和６年度
離職率	13.0%	10.4%

１０.就労支援

就労支援職員同士のスムーズな業務連携のために適宜面談を実施した。また、就労支援職員個々の能力を引き出すとともに、現場職員の業務負担軽減へ繋がるように適宜業務内容の調整を行っています。沖縄県障害者職業センタージョブコーチとも連携し、就労支援職員自身の体調や精神面にも配慮し継続した雇用の安定に取り組んでいます。

１１.実習生の受入れ状況

（１） 介護実習受け入れ（介護養成校、インターンシップ、教員等介護等体験）

	実習受け入れ期間	実習日数	学校名	人数
R6	5 月 2 日～5 月 2 日	1 日	沖リハ　介護福祉学科１年 2 年※介護デー	6 名
	6 月 3 日～8 月 27 日	19 日	真和志高校みらい福祉科 3 年	3 名
	7 月 22 日～8 月 2 日	8 日	真和志高校みらい福祉科 2 年	3 名
	8 月 5 日～8 月 9 日	5 日	教員免許等介護等体験(県立芸術大学)	2 名
	8 月 26 日～8 月 30 日	5 日	沖縄福祉保育専門学校 1 年	2 名
	8 月 26 日～8 月 30 日	5 日	教員免許等介護等体験(沖縄国際大学)	2 名
	9 月 9 日～9 月 13 日	5 日	沖縄福祉保育専門学校 1 年	2 名
	9 月 9 日～9 月 13 日	5 日	教員免許等介護等体験(琉球大学)	1 名
	9 月 5 日～9 月 20 日	10 日	沖リハ　介護福祉学科１年	2 名
	10 月 8 日～10 月 10 日	3 日	沖縄県立 開邦中学校	3 名
	10 月 28 日～11 月 1 日	5 日	教員免許等介護等体験(琉球大学)	1 名
	11 月 25 日～12 月 5 日	9 日	真和志高校みらい福祉科 2 年	3 名
	11 月 25 日～11 月 28 日	4 日	真和志高校みらい福祉科 1 年	3 名
R7	1 月 20 日～1 月 25 日	5 日	教員免許等介護等体験(琉球大学)	2 名

（２） 福祉系高等学校等における教員介護実習

真和志高校みらい福祉科の教員１名を介護福祉現場実習を受け入れた。

１２.職員の採用、退職の状況及び職員配置状況（令和７年３月３１日現在）

		施設長	事務長	課長	室長	係長	介護支援専門員（施設）	生活相談員	介護職員	看護職員	管理栄養士	機能訓練指導員	本部企画室	総務職員	介護支援専門員（居宅）	医師	歯科医師	歯科衛生士	その他	計
３月末職員数	正規職員	1	1	1	1	2	2	5	48	6	2	3	1	5	2					80
	嘱託職員															2	1		5	8
	契約社員								26	7		1						1	9	44
	合計	1	1	1	1	2	2	5	74	13	2	4	1	5	2	2	1	1	14	132
令和６年度増員	採用						1		15			1		3					1	21
	異動							1												1
令和６年度減員	退職						2		7			3		3	1					16
	異動																			

※ 3/31 退職者は、次年度の減員（退職）とします。

１３.防災訓練の実施状況

（１） 避難訓練実施状況

- 第1回:令和5年8月29日(火)14時30分~
  平日昼間の出火を想定。3階(南側)デイシスユニット
  ※たこ足コンセントの通電火災初期消火から入居者の避難と誘導までを行う。

- 第2回:令和6年2月27日(火)14時30分
  夜間２時。2Fピスティス(北側)居室の電気系統から火災発生。夜間における緊急事態発生時(火災)の適切な対応手順確認。夜間人員における避難誘導、情報共有、初期対応の課題を把握するとともに、緊急時の情報共有の手順を確認し、職員間の連携を円滑に行えるように訓練を実施した。

１４.研修・資格試験等合格者数

（１）研修受講状況

日付	研修会名・研修内容	参加
4月8日	生産性向上ウェビナー研修	6
4月10日	救急対応勉強会 (救急要請、酸素ボンベ使い方)	15
4月11日	摂食嚥下体験会	
4月15日	交通安全勉強会	15
4月16日	適切なケアマネジメント ～多職種との融合～	5
4月22日	DX視察ツアー	3
5月7日	マナー研修 (第3回コラボレーション研修)	19
5月8日	救急対応勉強会(心肺蘇生)	12
5月12日	R6年度介護報酬改定(栄養関連)概要	1
5月12日	R6年度報酬改定対応 「新加算のとり方」	1
5月21日	DS経営者知っておきたい 介護業界の動向と事業・経営戦略	6
5月24日	令和6年度 介護施設における安全対策 担当者養成研修	1
5月29日	24年度介護報酬改定 ～生き残るための取るべき対策～	6
5月31日	心理的安全性のある1on1 ミーティング	2
6月3日	コラボレーション研修(第4回)	
6月13日	摂食嚥下体験会	6
6月13日	テーマ別技術向上研修(管理者向け)	1
6月14日	テーマ別技術向上研修(管理者向け)	1

日付	研修会名・研修内容	参加
6月17日	介護施設における法律実務研修	12
6月21日	栄養ケアマネジメント ～ケース別の栄養計画書等～	2
6月25日	人材育成の基本の『キ』	2
6月25日	日常生活における食中毒予防～高齢者の生活を守るためにできること～	10
6月26日	食中毒予防研修～HACCP衛生管理～	1
6月26日	見守り支援システムを活用した民間企業による有料老人ホームの経営戦略	5
7月9日	BCP訓練(感染症想定)机上訓練	30
7月10日	救急勉強会　(酸素飽和度低下)	6
7月11日	事故報告書の書き方	15
7月17日	「褥瘡か、スキントラブルか、どこを見てケア」	
7月17日	生産性向上委員会(ビギナー講座) 第2回西日本ブロック	5
7月18日	第2回アサーション研修	15
7月30日	生産性向上ビギナーセミナー2024	10
8月5日	おむつの当て方の基本	10
8月6日	意思決定支援について学ぼう	1
8月13日	口腔ケアオンライン	
8月22日	就労サポーター研修	2
8月23日	係長、主任講習	1
8月26日	雇用管理の重要性	2
9月3日	看取り研修	
9月9日	介護現場における生産性向上の 伴走支援オンラインセミナー	10
9月9日	第1回 リスクコミュニケーション	6
9月9日	琉球料理担い手育成講座	1
9月11日	救急対応勉強会(吐血・下血)	
9月13日	ケアマネジャー難病支援を基に考える	2
9月27日	令和6年経営塾	2
10月4日	援助者の為のカスタマー ハラスメント対策セミナー	1
10月8日	R6年度 県民教養講座労働関係セミナー	
10月8日	第1回 リスクコミュニケーション	5
10月9日	老健⇒千尋会　交換研修	
10月9日	救急対応勉強会(出血・骨折)	10

日付	研修会名・研修内容	参加
10 月 16 日	介護事業者向け BCP 見直しのポイント	
10 月 17 日	職業能力の体系化と人材育成の進め方	
10 月 21 日	雇用管理のポイント	2
10 月 22 日	苦情解決セミナー	2
10 月 24 日	令和６年経営塾（第２回）	2
10 月 29 日	個別避難計画と福祉避難所に 関するセミナー	2
11 月 1 日	季節で流行る感染症とその対策	
11 月 5 日	座ってできる椅子タップダンス	7
11 月 6 日	虐待防止 ～感覚麻痺、鈍感さを生み出さない～	
11 月 7 日	決算実務セミナー	1
11 月 13 日	法人交換研修　老健⇒千尋会	
11 月 21 日	看取り勉強会(着付け)	
11 月 21 日	令和６年経営塾（第３回）	2
11 月 25 日	ＳＵＰ研修(管理者向け)	4
11 月 27 日	基礎から学ぶ成年後見人制度	1
11 月 29 日	高齢者施設向け感染症対策研修	2
12 月 2 日	入浴加算に関する研修	
12 月 2 日	ＳＵＰ研修(業務リーダーA)	
12 月 4 日	ＳＵＰ研修(業務リーダーB)	
12 月 10 日	ストレングス ファインダー	2
12 月 11 日	救急勉強会（転倒後の頭部打撲）	
12 月 12 日	アンガーマネジメント	15
12 月 13 日	適切なケアマネジメント手法	1
12 月 17 日	“縁”でつながる地域実践	2
12 月 17 日	身体拘束廃止研修(リブドゥ)	15
12 月 18 日	令和６年度 HIV 感染者等の受け入れに 係る介護事業所を対象にした研修会	1
12 月 18 日	ＳＵＰ研修(所属長向け)	6
12 月 19 日	介護ロボット地域フォーラム	4
12 月 21 日	令和６年度 主治医意見書研修 （e ラーニング）	2
1 月 6 日	ＳＵＰ研修(業務リーダーA)	
1 月 8 日	ＳＵＰ研修(業務リーダーB)	
1 月 14 日	認知症医学知識　～周辺症状について～	17

日付	研修会名・研修内容	参加
	ユニットケア管理者研修	1
2月1日	職場環境づくり研修～介護現場で役立てる心理的安全の作り方～	
1月22日	「育児 介護休業法等改正」説明会	2
1月24日	「インフルエンザの感染経路と 予防について」	
1月24日	学びてぃあ ※地域ボランティア情報交換会	16
2月4日	心理的安全性の作り方研修	
2月7日	認知症の方のと会話	20
2月13日	口腔ケア	
2月14日	フレイル予防	
2月20日	高齢者施設での看とり ～医療的ケア研修会～	10
3月6日	知って防ごう食中毒(ノロウイルス)	
3月11日	心理的安全性の作り方研修(第２回)	
3月12日	法人間交換研修	
3月13日	眠りスキャン波形分析勉強会	10
3月14日	ND ソフトモデル事業ヒアリング	
3月14日	令和６年度 症例発表会	
3月18日	重度化予防と重度者の支援 ～姿勢管理二次障害予防～	

（2）資格試験等合格者数

令和6年度	資格名	人数
	介護福祉士	1
	喀痰吸引等研修指導者(不特定の者対象)	2
	喀痰吸引等研修修了者	4

１５.申請書類関連(変更届・指定更新・加算等)

月	事　業　所　名	事　　由	届　出　先
R6.4	介護老人福祉施設 嬉の里	変更届/介護報酬改定に伴う体制届	沖縄県
	嬉の里短期入所生活介護	変更届/介護報酬改定に伴う体制届	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/介護報酬改定に伴う体制届	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/介護報酬改定に伴う体制届	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/介護報酬改定に伴う体制届	介護保険広域連合
	嬉の里デイサービスセンター	変更届/介護報酬改定に伴う体制届	那覇市
	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/介護給付算定に係る体制届	沖縄県
7	嬉の里居宅介護支援事業所	変更届/運営規程変更（人員区分変更）	介護保険広域連合
	嬉の里居宅介護支援事業所	変更届/介護支援専門員変更	介護保険広域連合
	介護老人福祉施設 嬉の里	変更届/介護給付算定に係る体制届 （生産性向上加算Ⅱ）	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/介護給付算定に係る体制届 （生産性向上加算Ⅱ）	沖縄県
9	嬉の里居宅介護支援事業所	変更届/事務所移動※同施設内	介護保険広域連合
	嬉の里短期入所生活介護	変更届/介護給付算定に係る体制届 （サービス提供体制加算Ⅱ）	沖縄県
12	介護老人福祉施設 嬉の里	変更届/介護給付算定に係る体制届 （高齢者施設感染症対策体制加算Ⅰ）	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	変更届/介護給付算定に係る体制届 （高齢者施設感染症対策体制加算Ⅰ）	沖縄県
R7.3	嬉の里短期入所生活介護	変更届/経過措置終了に伴う届出	沖縄県
	嬉の里短期入所生活介護	変更届/介護給付算定に係る体制届 （生産性向上加算Ⅱ）	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	指定更新/介護予防サービス	沖縄県

（1）　その他報告

月	事　業　所　名	事　　由	届　出　先
8	特定有料老人ホームむつみ寮	有料老人ホームの運営に係る定期報告	沖縄県
R6.1	介護老人福祉施設 嬉の里	介護情報サービスへの報告	沖縄県
	嬉の里短期入所生活介護	介護情報サービスへの報告	沖縄県
	特定有料老人ホームむつみ寮	介護情報サービスへの報告	沖縄県
	嬉の里デイサービスセンター	介護情報サービスへの報告	沖縄県
3	介護老人福祉施設 嬉の里	医療機能情報提供制度に係る定期報告	医療機関等情報提供システム

千尋会　生活支援体制整備事業（南風原町受託事業）

1.　総括

令和 6 年度より南風原町より受託した生活支援体制整備事業では、4 地域（東新川、大名、北丘ハイツ、宮城）を担当し、地域の困りごとやニーズの把握、各種団体関係機関を繋ぐコーディネート、地域住民主体で続いている活動を表彰するお宝発表、地域ボランティアの楽しみの場を提供するアルソーレプレーゴに取り組みました。第一層協議体（町内にある企業や地域住民の話し合いの場）では地域の課題である「新しい認知症観の理解」について意見交換会を持ち、住み慣れた地域で自分らしく生活が続けられるよう企業や地域住民が協働し考える機会となりました。また、福祉マップ作成、地域の見守り体制づくり、地域交流と買い物支援を目的としていきいきおでかけバスツアーも実施しました。

※次年度からは、2 地域追加（与那覇、新川）され 6 地域の担当となります。

2.　生活支援体制事業（SC 業務）振返り

①主な取組み できたこと （実績）	【担当地区ごとに整理・記載】 〇担当地域全体 各地域の活動の場に訪問し、顔と名前を覚えてもらった 〇宮城 福祉協力員連絡会、福祉マップ作成提案　（実施回数 4 回） ボランティア向けの楽しみの場の提案（アルソーレプレーゴ）　（実施回数 1 回） ボランティア同士の情報交換の場の提供（学びてぃあ）　（実施回数 1 回） 〇北丘ハイツ 認知症勉強会開催にあたり関係者との連携 ふらっとカフェの提案　（実施回数 3 回） （介護相談会、居場所づくり、困りごと把握、サービスや情報をつなぐ場となった） 〇東新川 地域活性化に向けて区長と社協ＣＳＷとミーティング　（実施回数 3 回） 上記の内容として、住民アンケートを提案２月配布済 〇その他 地域交流、買い物支援を目的とした、いきいきお出かけバスツアーの調整と実施 11/2～11/3　福祉まつり　（SC カフェで地域、専門職はえるんの活動紹介） 2/3 お宝発表会　　3/3 第 1 層協議体
②できなかった こと	【担当地区ごとに整理・記載】 〇担当地区全体 老人クラブやその他活動団体事業所等への訪問、情報収集、ニーズ把握、各地域課題の把握と整理 〇北丘ハイツ 防災訓練の提案 〇大名・東新川 ミニデイ以外に活動の場が少ない、またはない為、地域の方と交流が不足

③課題	【担当地区ごとに整理・記載】 ○担当地域全体 ボランティア等の担い手不足、移動支援、他職種連携、情報共有 ○宮城 精神障碍者への理解と認知症になったら施設という認識が強いので、地域の見守りという視点を深める ○北丘ハイツ ボランティア不足　(R7.3 月現在 5 人だが R7. 4 月からマイナス 2 人の予定) 高齢化が進み体力的に引きこもりの高齢者が増加現象にある ○東新川 住民同士のつながりが希薄化。自治会長の負担軽減 ○大名 ボランティアがいなく会長 1 人で送迎等、高齢者のサポートをしている世帯の把握
④次年度に取り組みたいこと	1.地域ごとの取組み（実践の方法と頻度、連携先　他） ○宮城 夏場の見守り体制、環境づくり 精神障碍者の理解、認知症の勉強会 福祉協力員連絡会の定例化 地域内にある事業所へ訪問関係づくり ○北丘ハイツ 防災訓練の提案 ふらっとカフェの継続 ○東新川 地域主体でできそうな活動の提案や見守り体制づくり ○大名 福祉懇談会の提案開催、世帯把握 2.町全体での取組み（実践の方法と頻度、連携先　他） ○お宝発表会 R6 年度同様、地域づくりに詳しい講師やオブサーバーを招いての開催。 ○社会資源マップの更新 更新時期・方法の検討。 ○その他 各地域の活動を SNS で発信・広報 ボランティアの学び、楽しみの場の提供

嬉の里 食支援室

1. 総括

今年度の目標を①「専門性を高める」②「情報共有・多職種連携」へ変更し、ケアの質を高めるために、各専門職の特性を活かし食支援がスムーズに行えるよう取り組みました。安全に食事摂取ができ、生活の中で食事を楽しんで頂けるように、また細部まで気を配ったケアを行えるよう、多職種との情報共有や連携にも力を入れてきました。専門職からの情報発信や指導等を交え、多職種が口腔ケアや嚥下機能に対する認識や重要性について理解しケアに活かせています。また、管理栄養士2名の配置により、体調変化や食欲不振時に早い段階で介入し、細やかな食事支援に繋げることができました。

昨年度より誤嚥性肺炎での入院増加はなく、維持できている状況も多職種との情報共有や連携が継続できているためだと感じています。

2．重点実施事項の取組と成果

（1） 栄養・健康管理

- 管理栄養士2名配置により、個別での栄養状態の把握・健康管理に取り組みました。
- 食欲不振・飲水量の少ない利用者様の嗜好に沿った食事（水分）の提供により、食欲改善に取り組みました。
- 回想法の効果や栄養・健康の情報を発信する場として、デイサービスの利用者様と一緒に料理教室（月1回）を開催しました。
- 看取りケアでは食事の負担を軽減しながらも、食べたいタイミングで提供できるようご家族様の差し入れも含め調整しました。

（2） 摂食・嚥下体験会

- 2ヶ月に1回、介護職員・新職員を対象に摂食・嚥下体験会を開催しました。体験会の主旨として、介助されている方の気持ちを理解して頂くため、実際に食事介助される体験を行う体験型の勉強会を企画しました。
- 歯科衛生士から、口腔ケアの注意点や口腔ケア用品の使用方法・口腔ケアの重要性について講義を行い口腔ケアの資質向上に務めました。
- 言語聴覚士から嚥下機能の説明を行いより深い理解に繋げました。体験会後にはアンケートを行い、今後の摂食・嚥下体験会に活かせるように工夫しています。

（3） CMS通信（口腔・嚥下・栄養の情報配信）※別添資料

- 季節に応じ、「季節の薬膳」や「脱水予防」「琉球料理」「食事姿勢について」など、食支援に繋がる幅広い情報を2ヶ月に1度、CMS通信として発行しました。

（4） 口腔ケアの実施指導

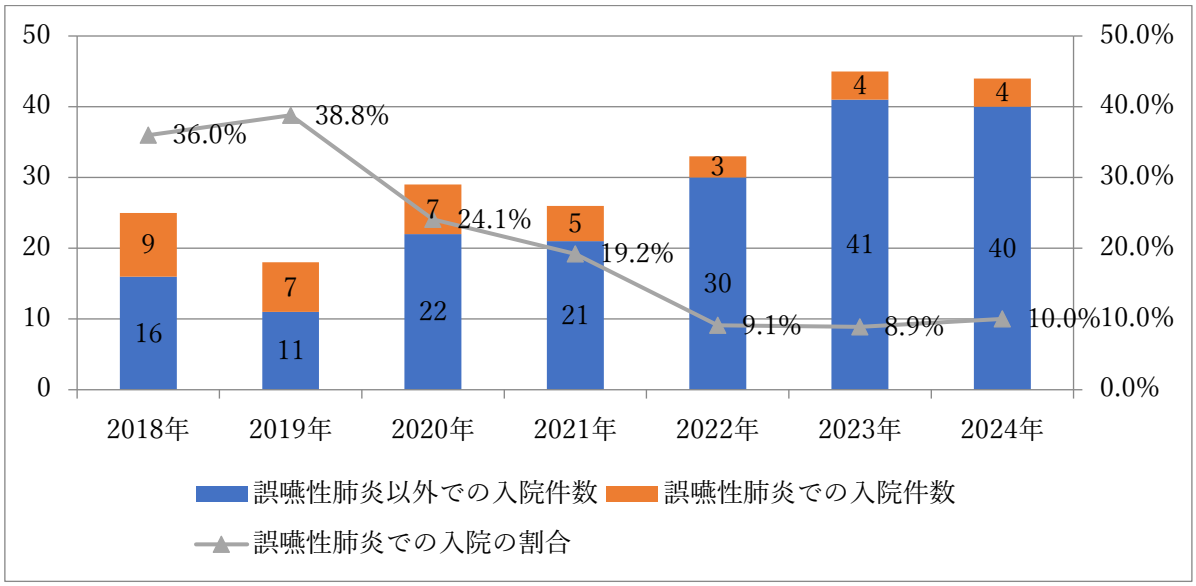
- 開口困難な方や義歯の洗浄方法など、個人に応じたケア方法を歯科衛生士・言語聴覚士から指導し実際の口腔ケアに活かしました。

（5） 多職種連携

- カンファレンスやミールラウンド等で多職種と情報共有し、個人に沿ったケアを模索しサービス提供できるように取り組みました。

- ✓ 歯科衛生士：口腔ケア技法や口腔衛生について。その他義歯調整や使用方法など。
- ✓ 言語聴覚士：嚥下機能や食事量・食事摂取時の姿勢について助言や提案など。
- ✓ 管理栄養士：体重の推移や摂取量・栄養状態などを踏まえ食事内容・食事形態の調整など。

（６）　誤嚥性肺炎での入院年間比率



（７）　加算算定状況

（単位：件）

月 算定加算	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
治療食加算	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
栄養強化加算	70	70	69	70	70	70	69	69	70	70	70	70	837
経口維持加算	27	28	27	28	27	28	28	29	26	24	22	22	316
（有料）口腔・栄養スクリーニング加算	2	2	5	8	10	4	1	2	6	7	8	4	59

CMS通信

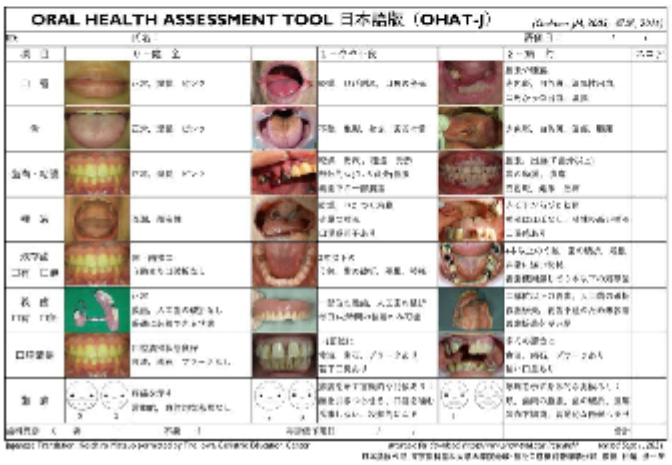
Chihirokai Meal Support

第18号
2024年7月

千尋会
インスタグラム

OHAT－J（Oral Health Assessment Tool日本語版）

令和６年４月～介護施設系サービスにおいて口腔衛生の管理が義務化されました。


ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL 日本語版（OHAT-J）

高齢者の口腔を清潔に保つことは、健康維持に欠かせないケアであり、今後ますます体制の強化が重要となります。

そこで、千尋会では、様々な職種が口腔内を評価できるツールとして「OHAT-J」を使用していくことになりました。

初めて聞く方、少々複雑に感じる方も多いと思いますが、簡便なスクリーニング方法です。

一緒に確認していきましょう♪

令和6年4月～
介護施設系サービス
口腔衛生の管理**義務化**

介護職員での
口腔スクリーニング
必須

口腔に関わる
全ての職種の
連携

多職種に共通する
評価ツールの
使用

OHAT-Jってなに？？

Dr.JM Charlesmanらによって作成。
松尾浩一郎教授が和訳した口腔アセスメント方法

どうやって評価するの？

８個の項目を
０点(健全)～２点(不良)の３段階で評価。
【８個の項目】
①口唇　②舌　③歯肉・粘膜
④唾液　⑤残存歯　⑥義歯
⑦口腔清掃　⑧歯痛

メリットは？

1. いろいろな職種が共通して評価することができる。
2. 口腔内の状況を数値化して、課題を認識しやすい。
3. 口腔ケアの手技や回数の統一が図りやすい。

健康維持は口元から!!　口腔内のチェックから始めましょう(^^)/

【参考】東京医科歯科大学　大学院　地域・福祉　口腔機能管理学分野HP

社会福祉法人　千尋会　食支援室

CMS通信

Chihirokai Meal Support

第20号
2024年11月

千尋会
インスタグラム

沖縄に住んでいながら、琉球料理についてなかなか知らない事が多いと思います。
今回は**日本遺産にも認定**されている「琉球料理」「泡盛」「芸能」の中から「琉球料理」についてお伝えします。

宮廷料理 ＋ 庶民料理

食材・調理法・器などの生活文化

琉 球 料 理

琉球料理は、中国の冊封使や薩摩の在番奉行等をもてなすため、**宮廷料理**として確立。それが上級階級に伝わり、明治以降には一般家庭**(庶民料理)**にも広がり発展し、受け継がれてきました。
沖縄で発展・継承されてきた大切な伝統料理です。

～琉球料理の特徴的な3大調理法～

チャンプルー

豆腐と季節の野菜を炒め合わせる調理法です。豆腐はすぐれた食物性タンパク質ですが、ビタミンや食物繊維などが不足しており、野菜と組み合わせる事でこれらを補えます。

▹ポイント！
島豆腐は味が染み込むように手でちぎり、焼き色を付ける事で、水分が逃げるのを防ぐ

イリチー

イリチーは乾燥食品、根菜類水分の少ない食材を利用して、出汁で炒め煮にする調理法です。少しずつ出汁を加え、煮含ませるため濃厚な味わいになります。

▹ポイント！
一度に出汁を入れず、水分がなくなってきたら鍋肌から出汁を入れる事を繰り返す

ンブシー

野菜、豆腐、豚肉を味噌味で煮込んだもの。煮物と汁物の中間くらいの料理。ウブシー、ウブサー、ンブサーとも呼ばれます。

▹ポイント！
油分と出汁（水分）が乳化するように中火で煮込む

作ってみよう～！ ☆チンスコウ☆

＜ 材 料 ＞
- 薄力粉・・・・100g
- 上白糖・・・・75g
- ラード・・・・50g

▹作り方
①薄力粉・上白糖はふるっておく
②ラードと上白糖を混ぜる
③薄力粉を加え、切るように混ぜまとめる
④150℃のオーブンで約30分焼く

【参考】沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課
琉球料理保存協会「毎月第3木曜日は琉球料理の日」

社会福祉法人　千尋会　食支援室

令和6年度

Sognarae　Café　事業報告書

2016年10月1日 OPEN	Sognarae　Café（ソナーレカフェ）　イタリア語で「夢カフェ」 営業時間　月曜日～金曜日　11：30～16：30　　土曜日　11：30～15：00 《スタッフ》　ホームメイドクッキングパン認定講師：1名 ホール担当：1名　管理栄養士：1名
2019年4月～	デイサービスおやつ提供開始 むつみ寮おやつ提供開始 クレープ・焼きドーナツ・どら焼き シフォンケーキ・パウンドケーキ　　等
2020年8月～	新型コロナウィルス感染拡大防止のため、一般客・ご家族様利用を一時中止
2020年8月～	新型コロナ感染拡大防止のため、内部向け営業へ切り替え 利用対象者：千尋会職員のみ
2023年4月～	新型コロナウィルス感染対策緩和によりご家族様利用開始 原材料の高騰により、一般向け販売金額を変更 ※定期的に販売金額の見直し行い、現在に至る。

【販売商品】

＊ドリンク＊

コーヒー
オレンジジュース
アップルジュース
ハーブティー
紅茶

＊日替わり焼き菓子＊

シフォンケーキ（数種類）
クッキー
スコーン

＊日替わりランチ＊

＊気まぐれパン＊

＊トマトパスタ＊

《注文受付中》
ソナーレカフェでは、誕生日ケーキやお土産用の焼き菓子・パンを準備しています。内容は相談可能です。
お気軽にお声かけ下さい。
※保存料・防腐剤を含まないため消費期限が短くなっています。

3月 週間献立表

	令和7年3月3日（月）	令和7年3月4日（火）	令和7年3月5日（水）	令和7年3月6日（木）	令和7年3月7日（金）	令和7年3月8日（土）	令和7年3月9日（日）
☆朝食☆	麦ごはん みそ汁 からし菜炒め のり佃煮 牛乳 エネルギー：496kcal たんぱく質：19.0g 食塩：2.0g	バターロール 鶏肉と野菜のスープ 牛乳 エネルギー：407kcal たんぱく質：17.3g 食塩：1.5g	わかめごはん みそ汁 ブロッコリー炒め メイグルト エネルギー：396kcal たんぱく質：13.7g 食塩：2.7g	ウムニー みそ汁 大根ウブシー 牛乳 エネルギー：455kcal たんぱく質：15.8g 食塩：2.4g	うぐいすパン つみれと野菜のスープ煮 牛乳 エネルギー：491kcal たんぱく質：16.3g 食塩：2.2g	中華風粥 みそ汁 ブロッコリー炒め 牛乳 エネルギー：374kcal たんぱく質：17.0g 食塩：2.8g	麦ごはん みそ汁 もやしのツナ炒め うめびしお 牛乳 エネルギー：451kcal たんぱく質：16.9g 食塩：2.3g
☆昼食☆	☆ひなまつり☆ ちらし寿司 赤だし きんぴらごぼう 大豆と金時豆の甘煮 エネルギー：488kcal たんぱく室：18.3g 食塩：2.6g	麦ごはん みそ汁 煮付け ほうれん草ピーナッツ和え ウムニー エネルギー：502kcal たんぱく質：17.0g 食塩：2.7g	麦ごはん 中華スープ 回鍋肉 餃子 杏仁豆腐 エネルギー：589kcal たんぱく質：21.9g 食塩：2.2g	麦ごはん みそ汁 鶏肉と野菜の豆板醤炒め コロッケ フルーツポンチ エネルギー：595kcal たんぱく質：19.9g 食塩：2.9g	雑穀ごはん ポークカレー サラダ フルーツヨーグルト エネルギー：624kcal たんぱく質：18.7g 食塩：2.7g	ごはん みそ汁 白身魚の柚庵焼き 付）ピーマンソテー 南瓜のそぼろあんかけ いちごゼリー エネルギー：480kcal たんぱく質：15.5g 食塩：2.9g	麦ごはん みそ汁 和風ハンバーグ ほうれん草炒め オレンジ エネルギー：480kcal たんぱく質：15.5g 食塩：2.9g
❀おやつ❀	常食）蒸しパン ミキサー）プリンムース ＋ポカリスエット	常食）クレープ ミキサー）バナナムース ＋ヤクルト	常食）ぜんざい ミキサー）小豆ムース ＋生姜ミルクティー	プリン ＋げんまい	常食）ポーポー ミキサー）チョコムース ＋ポカリスエット	常食）パインケーキ ミキサー）みたらしムース ＋生姜紅茶	チョコババロア ＋はちみつレモン
☆夕食☆	麦ごはん みそ汁 はんぺんフライ 付）イタリアンソテー 鶏肉と白菜のごま酢和え エネルギー：483kcal たんぱく質：15.1g 食塩：2.3g	ごはん アーサ汁 鱈のちゃんちゃん焼き風 南瓜の含め煮 エネルギー：439kcal たんぱく質：20.1g 食塩：2.2g	麦ごはん みそ汁 鶏肉のたらこマヨ焼き ビーマンソテー エネルギー：471kcal たんぱく質：20.5g 食塩：2.8g	麦ごはん みそ汁 魚のハーブ焼き 付）小松菜ソテー 白菜のオイスター炒め エネルギー：457kcal たんぱく質：20.8g 食塩：2.5g	麦ごはん みそ汁 八宝菜 きんぴらレンコン エネルギー：419kcal たんぱく質：15.0g 食塩：2.3g	麦ごはん アーサ汁 麻婆豆腐 中華和え エネルギー：439kcal たんぱく質：15.8g 食塩：2.1g	ごはん みそ汁 さばの照り焼き 付）きぬさや 大根ウブシー エネルギー：566kcal たんぱく質：19.9g 食塩：2.6g

※天候や仕入れ状況により献立の変更もございます。ご了承下さい。

介護老人福祉施設　嬉の里

１．総括

今年度は、生産性向上委員会と共にDXを推進する為、「介護ロボットを全職員が扱えるようにする」を目標に取り組みました。介護ロボットの勉強会を開催しユニットリーダーとリハビリ職員で介護ロボットの使用方法を伝達し、介護ロボットを扱える職員が増え、業務の効率化、負担の軽減に取り組みました。専門的な知識、技術に基づいた環境の改善で、ケアの質の向上、やりがい向上、職員の定着に繋がりました。

また活動では協力ユニット、フロア単位での活動も増え、入居者様家族様も参加できる夏祭りの開催など、家族と一緒に楽しむ機会も増えました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）サービスの質の向上

① 移乗サポートロボットHugや移乗リフトをケアに活用し、入居者、介助者双方にとって負担軽減に繋がりました。また介護ロボットを扱える職員が増えた事で、ケアのサポート体制の幅も広がり、より入居者の生活リズムに合わせた支援が行えました。

② 入居者が施設の暮らしの中で季節を感じられるよう、端午の節句や七夕、ひな祭り、敬老会、ムーチー作りなど年中行事を意識した活動やドライブ、お花見など外出の機会を設け気分転換を図りました。夏祭りは、ご家族の参加もあり一緒に楽しみました。

③ 移乗サポートロボット「Hug」や「移乗リフト」の対象となる入居者をリハビリスタッフと検証し、介護ロボットを活用したケアを取り入れ、入居者、介助者双方にとって負担軽減となりました。「Hug」の使用で入居者への対応が１人でも可能になり、入居者の生活リズムに合わせた支援を行いました。

④ 夜間の見回りで覚醒や起き上がり動作を眠りスキャンで確認し、適切な時間に訪室、排せつ介助等を行い、質の良い睡眠の支援に努めました。

（２）職員の資質向上

① 移乗介護ロボット活用の勉強会で学んだ事を、主任、ユニットリーダー、リハビリ職員でユニット職員へ伝達し介護ロボットを扱える職員が増えました。移乗介護ロボットを活用する事で移乗介助が出来なかった職員が移乗介助を出来るようになり、ケアの効率化、身体的負担の軽減に繋がりました。

② 施設内での勉強会に積極的に参加し新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努めました。多くの職員が参加できるように勉強会を複数回開催、資料を配布し周知行いました。

（３）地域貢献・地域交流

① 6月～8月（計19日間）真和志高校みらい福祉科3年生3名の実習受け入れました。

② 8月～9月（計5日間）沖縄福祉保育専門学校ヒューマン介護学科1年生の実習受け入れました。

③ 11 月～12 月（計 9 日間）真和志高校みらい福祉科 2 年生 2 名の実習受け入れました。

（4）

行事

月	行事	備考
４月	外出支援	屋外活動、ドライブを楽しみました。
５月	作品づくり	こいのぼり作成し、各ユニットに飾りました。
５月	母の日祝い	各ユニットで母の日を祝いました。
６月	父の日祝い	各ユニットで父の日を祝いました。
７月	夏祭り	パブリックスペースで夏祭りを開催しました。
８月	スイカ割り	ユニットでスイカ割りを楽しみました。
９月	敬老祝い	各ユニットで敬老会を開催しました。
１０月	ハロウィン	仮装しおやつ会を行いました。
１１月	外出支援	ドライブと買い物支援を行いました。
１２月	クリスマス会	ユニットでクリスマス会を開催しました。
１月	新年会	ユニットで新年会を開催しました。
２月	外出支援	ドライブと桜の花見を楽しみました。
３月	カラオケ大会	ユニット合同でカラオケ大会を開催しました。

※他、毎月の誕生会、おやつ会イベント等を随時開催しています。

３．サービス提供実績

（１）　年間平均実績

- 稼働率　　実績　99.6%
- 平均介護度　　実績　4.1　(R6.3.31 現在)

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
稼働率(%)	99.6	99.4	99.9	99.5	100	99.7	99.9	98.7	99.5	99.5	99.8	100	99.6%
入院日数	96	117	66	11	55	93	86	130	160	105	28	61	1010
平均介護度	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0
要介護 3	16	16	16	17	16	16	16	18	20	18	19	18	0
要介護 4	29	29	29	28	29	29	29	30	30	32	31	31	0
要介護 5	24	24	23	23	24	24	22	20	19	19	19	20	0
入所者計（月末）	70	70	69	70	70	70	68	69	70	70	70	70	69.6
新規入所者計	2	1	0	0	0	2	0	3	3	0	1	0	計 12
退所者計	1	1	1	1	0	2	2	2	2	2	1	0	計 15

（２）　加算算定状況

● 算定加算 【共通加算】

加　算
日常生活継続支援加算Ⅱ
看護体制加算Ⅰ
看護体制加算Ⅱ
夜勤職員配置加算Ⅱ
個別機能訓練加算Ⅰ
個別機能訓練加算Ⅱ
栄養マネジメント強化加算
科学的介護推進体制加算Ⅰ
介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護職員特定処遇改善加算Ⅱ
介護職員等ベースアップ等支援加算
ADL 維持加算Ⅰ
生産性向上推進体制加算Ⅱ
協力医療機関連携加算 2
高齢者施設等感染症対策向上加算Ⅰ

● 算定加算 【対象者のみ】

加　算
精神科医師的療養指導加算
外泊時費用
自立支援促進加算
口腔衛生管理加算Ⅰ
経口維持加算Ⅰ
経口維持加算Ⅱ
療養食加算
初期加算
安全対策体制加算
看取り介護加算Ⅰ（72 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（144 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（680 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（1280 単位/日）

（３）　年齢構成　(R7.3.31 現在)

	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上	合計人数	平均年齢
男性	0	1	0	1	1	7	6	1	0	17	87 歳 3 ヵ月
女性	0	0	0	6	5	15	15	7	5	53	90 歳 5 ヵ月
合計	0	1	0	7	6	22	21	8	5	70	89 歳 8 ヵ月

（４）　入居期間　(R7.3.31 現在)

	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	合計	平均入居期間
男 性	4	9	3	1	0	17	3 年 2 ヵ月
女 性	11	28	10	3	1	53	3 年 10 ヵ月
合 計	15	37	13	4	1	70	3 年 8 カ月

（５）　日常生活動作状況 (R7.3.31 現在)

日常生活動作		男性	女性	合計
移動手段	独歩・手引き歩行	0	2	2
	杖・歩行器・シルバーカー	2	2	4
	車椅子	15	49	64
食事	自立	10	15	25
	一部介助	4	19	23
	全介助	2	11	13
	経管・胃ろう	1	8	9
排泄	自立	0	0	0
	トイレ使用	4	13	17
	トイレ/おむつ併用	7	8	15
	おむつ使用	6	32	38
入浴	個人浴槽	0	0	0
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	12	18	30
	特殊浴槽（ストレッチャー）	5	35	40

（６）　日常生活動作状況（R7.3.31 現在）

日常生活動作		男性	女性	合計
移動手段	独歩・手引き歩行	0	0	0
	杖・歩行器・シルバーカー	4	1	5
	スタンダード・モジュール型車椅子	10	27	37
	ティルトリクライニング車椅子	4	24	28
食事	自立	2	4	6
	一部介助	11	23	34
	全介助	4	17	21
	経管・胃ろう	1	8	9
排泄	自立	0	0	0
	トイレ使用	3	10	13
	トイレ/おむつ併用	6	8	14
	おむつ使用	7	36	43
入浴	個人浴槽	0	0	0
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	8	10	18
	特殊浴槽（ストレッチャー）	9	43	52

（７）　機能訓練主な訓練内容

生活リハビリ:日常生活動作、ポジショニング、福祉用具を用いた移乗
環境調整　　:ベット上ポジショニング、座位ポジショニングの検討、
　　福祉用具・介護ロボットの伝達
個別練習　　:関節可動域練習、歩行練習等
集団体操、諸活動(書道・生け花)、

・今年度は特養の部署目標に合わせ、介護職員が福祉用具・介護ロボットが使用できるよう、介護リーダーを中心に個別で振り返りを行いました。新職員への伝達を今後は介護士と一緒に行える体制が進んでいます。
・食支援室が主催している嚥下体験会にて座位姿勢の見方を介護職員に伝達。またカンファレンスにてシーティングクッションの必要性をご家族へ説明し、褥瘡リスクのある方を予防から取り組めるよう努めました。
・入居者様、ご家族様より個別介入を望まれるケースが増えていることから、歩行練習や可動域練習、また日常生活動作の獲得に向けた短期集中介入を実施しています。

（８）　健康管理

項　　目	内　　容
健康管理	バイタル測定（入浴前、状態変化時、不安定期） 嘱託医指示の医療行為の実施。入退院、受診対応 急変時救急対応、定期薬の分包・管理、処置
健康診断	回診 2 回/週（火曜日・金曜日） 定期検診（3 月・9 月前後 2 回／年）入所時検（必要時）
医学管理	在宅酸素療法、喀痰吸引、点滴、バルーン留置管理 、採血、経管栄養管理、N チューブ交換、処置全般、抗原検査実施
医療機関との連携	主治医・地域連携室との電話等による状況報告、指示による医療処置及び搬送調整
予防接種	コロナウイルス予防接種（本年度は３月に１度実施） インフルエンザ予防接種 （職員嘱託医入院期間あり希望の入居者、１月～２月に実施）
褥瘡対策	褥瘡発生リスクが高い方については多職種連携しアセスメント必要な予防対策の実施
看取り対応	5 名
緊急時対応	夜間オンコール対応回数：65 回（前年度 45 回） （うち夜間出動回数 15 回）

（９）　受診状況（R6.3.31 現在

嬉の里 受診状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年合計
内科	9	8	8	7	6	4	6	7	12	10	8	8	93
整形	2	2	2	0	0	0	0	0	0	4	2	2	14
皮膚科	3	5	3	7	7	3	5	4	6	7	8	4	62
歯科	7	8	6	7	7	10	6	3	4	3	4	5	70
眼科	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	7
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
外科	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
泌尿器科	1	6	1	1	1	1	1	0	2	3	3	5	25
脳神経外科	1	0	2	2	0	0	1	0	1	0	1	0	8
心臓血管外来	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
発熱外来	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
耳鼻科	2	3	4	1	1	1	1	0	0	2	0	0	15
精神科	3	4	4	4	2	3	7	4	4	7	4	4	50
循環器内科	1	0	1	0	2	0	2	1	0	1	0	1	9
乳腺外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
リウマチ科	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
呼吸器内科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
消化器内科	3	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	9
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
糖尿病外来	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	2	0	7
口腔外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
救急搬送	2	2	1	0	3	1	1	1	1	0	0	0	12
救急外来	2	2	1	0	3	1	1	1	2	1	0	0	14
※外部合計	40	44	35	32	36	26	33	25	32	39	37	34	413
内科（施設）	129	155	123	156	141	64	104	151	133	181	105	133	1575
精神科（施設）	133	158	136	135	103	0	133	135	131	126	136	137	1463
※施設合計	262	313	259	291	244	64	237	286	264	307	241	270	3038
※外部＋施設	302	357	294	323	280	90	270	311	296	346	278	304	3451

短期入所生活介護　デイシス

１．総括

一時的に中止していたショートステイは令和６年５月から再開しています。利用者が快適に過ごせるように、テーブルの配置を変更し利用者同士が、食事やレク活動で交流しやすいように工夫しています。また、ホール内の一部はくつろぐ空間として静かで落ち着いた雰囲気を感じられるようにソファーや家具を配置し、テレビを見たり休憩するなど安心してリラックス出来る環境を整えました。

全室に設置した「眠りスキャン」の活用で、状況に応じた訪室で夜間の睡眠を妨げないように見守りや排せつ介助を行い、プライベートな時間の確保に努めました。

活動では体操やゲーム、おやつ会などの室内でのレク活動、買い物やドライブ、浜下りなど屋外での活動を実施しました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）サービスの質の向上

① ユニットホールの環境作りで、テーブルやソファー、テレビの配置を変更したことで利用者同士の交流が活発になり、利用者同士でお喋りを楽しむ時間が増えました

② 体操、レクリエーション、手工芸を実施し、利用者が作成した物をユニットホールに飾り、活動の成果を見て楽しめるようにしました。また外出支援を実施、ドライブや買い物、外食などで楽しんでもらいました。

③ 見守り支援システム「眠りスキャン」を活用し、睡眠状態の把握や状態に応じた訪室、排泄介助を行い居室ではリラックスして休める環境を提供しています。

④ 移乗サポートロボット Hug を使用することで、介護者が移乗やトイレ誘導を１人で対応できるようになり利用者を待たせる事なく介助出来るようになりました。

⑤ 利用中の活動の写真を連絡帳に添付し、活動の様子が伝わるよう工夫しました。

（２）行事

月	行事	備考
５月	ドライブ 手工芸	南風原～与那原をドライブ、与那原ジェフでおやつ ６月の飾り作り、ユニットで展示
７月	スイカ割り	ユニットで開催。
８月	流しそうめん	ユニットで開催
９月	ドライブ	南部をドライブ、マクドナルドでおやつ
11 月	ドライブ	西原ドライブ、買い物
12 月	クリスマス会	ユニットで開催
１月	手工芸	ユニットで飾り作り。ユニットで展示

※他、毎月の誕生会、おやつ会イベント等を随時開催しています。

３．デイシス短期入所サービス提供実績

（１）　年間実績と平均介護度

- 稼働率実績　63.4%　（R7．４月除く）
- 平均介護度　2.6　　（R7．４月除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
稼働率(%)	0	43.2	59.3	53.5	78.4	73.7	79.0	73.7	71.0	68.4	80.4	79.7	63.4%
総利用数	0	138	180	170	250	228	250	229	230	221	240	263	2399
要支援１	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	14
要支援２	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	2	7
要介護１	0	6	9	11	9	6	11	10	10	13	11	11	107
要介護２	0	10	10	9	11	13	13	12	11	10	10	13	122
要介護３	0	7	7	10	17	14	13	15	14	11	15	12	135
要介護４	0	6	11	9	9	11	10	11	12	8	10	7	104
要介護５	0	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	23
平均介護度	0	2.8	2.9	2.8	3.0	3.1	2.8	2.8	2.7	2.6	2.8	2.8	2.6
利用者数	0	33	41	44	51	48	50	51	50	46	50	49	513

（２）　加算算定状況

● 算定加算 【要介護】

加　算
機能訓練指導体制加算
夜勤職員配置加算Ⅱ
サービス提供体制強化加算Ⅱ
看護体制加算Ⅰ
看護体制加算Ⅱ
介護職員等処遇改善加算Ⅰ

● 算定加算 【要支援】

加　算
機能訓練指導体制加算
サービス提供体制強化加算Ⅱ
介護職員等処遇改善加算Ⅰ

ショートステイの１日の流れ

6：30～	・起床・整容	それぞれのリズムや様子を伺いながら起床。
7：30～	・朝食	
9：00～	・入浴	状況によっては午後入浴頂く場合もございます。
9：30～	・お迎え	9：00～10：30の間にお迎えに伺います。 施設到着時は、血圧や脈拍など測定させて頂きます。
10：00～	・体操	ラジオ体操、口腔体操などを行います。 覚醒の向上や心身機能の維持・向上を目的としてます。
12：00～	・昼食	
14：00～	・レク活動	手工芸やゲーム、ドライブなどを行います。 気分転換や他者との交流、心身機能の維持・向上を目的としてます。
15：00～	・おやつ お送り	宿泊の方はおやつを頂きます。 ご帰宅の方は15時より施設を出発します。
18：00～	・夕食	
21：00～	・消灯	就寝時間は異なります。

◆確認事項◆

○送迎時間：（お迎え）9：00～10：30　（お送り）15：30～16：00
　　ご家族送迎の場合は、（受入れ）8：30～　（帰り）19：30まで
　　※夕食の提供も可能ですのでご相談下さい。
※年末年始・ゴールデンウィーク・旧盆中の送迎は、ご家族対応でお願い致します。

○保険証について：初回利用時は介護保険証、介護負担割合証、医療保険証
　　介護負担限度額認定証（認定を受けている方）をお持ち下さい。
　　※コピーをさせて頂きます。

○連絡帳：ショートステイ専用の連絡帳をお渡しします。
※嬉の里デイサービスご利用の方は、併用しますのでデイサービスの連絡帳をお持ち下さい。
　他デイサービスをご利用の方で、連絡帳併用をご希望の方はご連絡下さい。

○お荷物について：荷物チェックを行っておりますが衣類・お薬・貴重品のみ確認させて頂きます。

○ご利用中の体調不良について
・発熱など体調不良の場合は、利用中止とさせて頂きます。
　※病院受診かご自宅で様子観察をお願い致します

○台風時の利用について
・台風時の送迎は行っておりません。
・予約キャンセル、延泊などの日程調整を行う場合がございますのでご了承下さい。

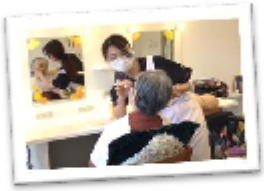
嬉の里ショートステイ

安心の施設設備

在宅生活を支援いたします！

対 象:要支援1
～要介護5
居 室:10部屋
（全部屋個室）

Point!
施設内
カフェ・エステ室あり



Point!
介護ロボット
見守りシステム導入

充実のレク活動

心身機能の維持・向上や
気分転換を目的に行ってます

・外出支援
・手工芸
・健康体操

・脳トレ
・各種ゲーム
・カラオケ　など

専門職チームの安心サポート！

Point! 管理栄養士によるバランスのいい食事提供

Point! 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士などの多種の専門職を配置

Point! 看護師による体調確認・服薬管理

◎経管栄養/在宅酸素/インスリン注射対応可。ご相談下さい

見学・相談はお気軽にご連絡下さい！

社会福祉法人 千尋会　☎098-888-0591

HP コチラ

居室スペース

ユニット共有スペース

カフェコーナー

お風呂

居室内の洗面台

テラスで
バーベキュー♪

楽

初　詣

外出支援や季節のイベント
を企画しています♪

ドライブ

リフレッシュしながら
《回想法》心身機能の
活性化を図ります。

特定有料老人ホーム むつみ寮

１．総括

入居者様が笑顔で安心して過ごせる環境づくりのため、入居者さまを少人数に分け、その人らしさを大切にする個別ケアの実現に取り組みました。より良いケアを提供するために、職員間の報連相を徹底、接遇を意識し、統一したケアを目指してきました。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）サービスの質の向上

① ADL 低下を予防する為、専門職同士(リハビリ、相談室、看護師)との連携を強化し個別ケアに取り組みました。毎月の活動も、入居者様が楽しんでもらえる時間づくりを工夫しました。

② 毎月の入居者懇談会では、専門職からの健康講話(転倒予防、口腔講話、衛生面)を開催しました。また、入居者の意見、要望を聞き取り心地よく過ごしてもらえるよう対応しました。

③ リビングやラウンジへ観葉植物の設置。バルコニーでは、お花の手入れなど、入居者様と癒しの空間作りに取り組みました。

④ 見守り支援システム「眠り SCAN」を活用し入居者様に個々に合わせたセンサーシステムの設定調整を行い、事故の未然防止につながりました。

⑤ 入居者様の要望に応え、カラー染めやパーマでおしゃれを楽しめるように、定期的に訪問理美容を導入しました。

⑥ より良い暮らしを提供するため 30 名の入居者様を 15 名ずつのグループに分けて取り組みました。

（２）職員の資質向上

① 入居者様への支援方法に差が出ないよう、業務マニュアルを作成し、質の標準化、業務改善、入居者の統一したケアを目指しました。また、機能訓練指導員と連携し、個々に合わせた福祉用具の選定、使用方法を周知、徹底しました。

② 委員会主催の研修（オンライン研修、対面研修、紙面含む）など活用し職員の資質向上に努めました。

③ 看取りケア未経験の職員を対象に個別で「看取り勉強会」を実施しました。

（3）行事

	行事	備考
4月	我謝そば	手作りそば、天ぷらを作り沖縄そば屋を作り入居者様へ提供。
5月	ドライブ	入居者様の希望により、海へドライブ
7月	夏祭り	千尋会の行事で、入居者様もダンスで余興に参加
8月	おやつ作り	職員がぜんざいを手作りし、入居者様へ提供。
10月	敬老会	職員で余興も披露し、盛り上がりました。
1月	新年会	入居者様ともちつき大会も実施。手作りの天ぷらも提供。
2月	花見ドライブ＆初詣	入居者様の希望で、花見ドライブ後初詣実施。お昼ご飯にマクドナルドを召し上がる。
2月	子ども会慰問	与那原町の子ども会がエイサーを披露してくれました。

※他、誕生月には誕生会を開催

3．特定有料老人ホームサービス提供実績

（1） 年間平均実績

- 稼働率　95.7 %
- 平均介護度　2.8

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計・平均
稼働率(%)	95.9	96.7	96.0	96.3	95.7	96.7	96.7	95.9	96.3	96.7	92.3	93.4	95.7%
入院日数	33	18	14	1	41	66	63	71	65	72	75	74	593
平均介護度	2.9	2.9	2.9	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6	2.5	2.8
要介護 1	5	5	5	7	7	6	6	6	6	6	7	8	
要介護 2	9	9	8	7	6	6	6	6	8	9	9	8	
要介護 3	5	5	6	6	7	8	8	8	7	6	6	4	
要介護 4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	
要介護 5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	
入所者計（月末）	30	30	29	30	30	29	30	29	30	30	30	30	
新規入所者計	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	1	1	8
退所者計	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	7

※入院日数については入院日、退院日を含まない

（2） 体験利用室実績

- 平均実績 68.6%

月 / 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計・平均
稼働率(%)	76.7	67.7	56.7	85.5	59.7	52.0	64.5	68.3	69.4	77.4	72.6	72.6	68.6%

（3） 算定加算一覧

● 要介護認定

【共通加算】

加　算
特定施設夜間看護体制加算Ⅱ
特定施設個別機能訓練加算Ⅰ
特定施設個別機能訓練加算Ⅱ
特定施設サービス提供体制加算Ⅱ
特定施設協力医療連携加算Ⅱ
感染対策向上加算Ⅰ
特定施設介護職員等処遇改善加算Ⅰ
特定施設科学的介護推進加算
ADL 維持等加算Ⅰ
ADL 維持等加算Ⅱ
生産性向上推進体制加算Ⅱ

【対象者のみ】

加　算
口腔・栄養スクリーニング加算
看取り介護加算Ⅰ（72 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（144 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（680 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（1280 単位/日）

● 要支援認定

【共通加算】

加　算
予防特定施設個別機能訓練加算Ⅰ
予防特定施設サービス提供体制加算Ⅱ
予防特定施設協力医療連携加算Ⅱ
予防特定施設個別機能訓練加算Ⅱ
予防特定施設介護職員等処遇改善加算Ⅰ
予防特定施設科学的介護推進加算
感染対策向上加算Ⅰ
生産性向上推進体制加算Ⅱ

【対象者のみ】

加　算
口腔・栄養スクリーニング加算
看取り介護加算Ⅰ（72 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（144 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（680 単位/日）
看取り介護加算Ⅰ（1280 単位/日）

（４）　有料サービス状況及び実績

（単位：回）

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生け花	10	10	0	11	0	11	11	11	0	12	11	11	98
書道	9	10	4	5	2	10	11	9	10	0	12	0	82
手工芸	1	0	0	0	0	6	5	7	6	0	0	0	25
フェイシャルエステ	6	8	6	8	7	5	5	3	3	5	6	5	67
マッサージ	6	8	6	5	10	8	7	10	10	7	9	4	90

（５）　年齢構成

	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上	合計	平均年齢
男性	0	1	1	2	0	2	0	1	0	7	81
女性	0	0	0	0	2	4	10	6	1	23	90
合計	0	1	1	2	2	6	10	7	1	30	88

（６）　入居期間

	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	合計	平均入居期間
男 性	2	2	2	1	0	7	2 年 1 ヶ月
女 性	5	7	1	9	1	23	2 年 8 ヶ月
合 計	7	9	3	10	1	30	2 年 6 ヶ月

日常生活動作状況　(R7.3.31 現在)

日常生活動作		男　性	女　性	合　計
移動手段	独歩・手引き歩行を含む	1	2	3
	杖・歩行器・シルバーカー	2	4	6
	車椅子	4	17	21
食事	自立	4	11	15
	一部介助	2	9	11
	全介助	0	3	3
	経管・胃瘻	0	1	1
排泄	自立			
	トイレ使用	4	11	15
	トイレ/おむつ併用	2	9	11
	おむつ使用	0	4	4
入浴	個人浴槽	0	0	0
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	7	21	28
	特殊浴槽（ストレッチャー）	0	2	2

（７）　機能訓練主な訓練内容

生活リハビリ：日常生活動作、ポジショニング、福祉用具を用いた移乗
環境調整　　：ベッド上ポジショニング検討、車椅子座位調整、
　　福祉用具・介護ロボットの伝達
集団体操　　：日付の確認、短期記憶の促し、口腔体操、歌、音読等(週３回)
手工芸　　：季節に応じた作品作り(３か月に１回)
下肢運動　　：転倒予防やロコモ運動を意識した、立ち上がり反復練習、
　　立位で行う下肢運動や応用歩行、足指グーパー運動等(週１回)
個別練習　　：歩行練習等

・転倒予防のため、また病院退院後のリハビリを希望されることも多くなっているため、集団で平行棒を用いた下肢運動の練習を実施しています。
・介護ロボット Hug の使用により、立ち上がり練習を日常生活より継続して取り組めています。
・車椅子や歩行補助具等、入居者様に合わせて対応できるよう実費レンタルの導入を進め、早期に変更等の対応ができるようになっています。メンテナンスも年１回定期実施。

（8） 健康管理

項　目	内　容
健康管理	バイタル測定（入浴前、訴え時、状態変化時、不安定期)、 嘱託医指示の医療行為実施。入・退院・受診対応 急変時救急対応、定期薬の分包・管理、処置
健康診断	回診 2 回/週（火曜日・金曜日）嘱託医 定期検診（12 月前後に 1 回／年）入所時検査（必要時）
医学管理	在宅酸素療法、喀痰吸引、点滴、バルーン留置管理 、採血、経管栄養管理、N チューブ交換、処置全般、抗原検査実施
医療機関との連携	主治医・地域連携室との電話等による状況報告、指示による医療処置及び搬送調整
予防接種	新型コロナウイルス予防接種（本年度は希望者に対し 2 月に実施） インフルエンザ予防接種 （職員嘱託医入院期間あり希望の入居者、１月～２月に実施）
褥瘡対策	褥瘡発生リスクが高い方については多職種連携しアセスメント必要な予防対策の実施
看取り対応	2 名
緊急時対応	夜間オンコール対応回数：49 回（昨年度 20 回） うち夜間出動回数 6 回

（9）　受診状況

むつみ寮 受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
内科	1	1	1	1	2	2	8	6	5	4	4	6	41
整形	3	0	3	1	3	2	1	3	1	1	2	2	22
皮膚科	5	3	6	4	7	5	3	0	5	4	0	1	43
歯科	5	4	5	4	3	5	13	12	5	4	7	8	75
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	3	10
脳神経外科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
心臓血管外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発熱外来	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
耳鼻科	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	0	7
精神科	5	4	5	6	7	5	9	4	6	5	4	3	63
循環器内科	1	1	1	2	1	1	2	1	2	4	1	0	17
乳腺外来	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
リウマチ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
糖尿病外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急搬送	2	1	0	0	4	1	0	0	0	1	0	0	9
救急外来	2	1	0	1	4	1	1	1	0	2	0	0	13
※外部合計	24	17	23	20	31	20	37	33	25	32	23	23	308
内科（施設）	58	71	59	53	61	26	39	46	34	36	64	49	596
精神科（施設）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※施設合計	58	71	59	53	61	26	39	46	34	36	64	49	596
※外部＋施設	82	88	82	73	92	46	76	79	59	68	87	72	904

嬉の里デイサービスセンター

１.総括

令和６年度の嬉の里デイサービスセンターの取り組みとしてデイサービスでは６つのキーワード（環境、インテリア、接客、くつろぎ、活動、感動）のコンセプト構想を掲げて取り組んできました。特に、環境整備、くつろぎ、活動のブラッシュアップを重点的に改善しています。

日常の取り組みとしては体操１つについても身体への効果など目的意識を持てるように説明を加えて実施しています。毎月の活動にはご利用者のアンケートによるご意見を取り入れた活動を実施してきました。

前年度より生活リハビリポイントカードを取り入れています。一部のご利用者はポイント（景品）を楽しみに活動されていますが、他のご利用者は職員の働きかけが必要な現状である。

令和６年９月にはインフルエンザウイルス感染症が猛威を振るいデイサービス（ご利用者、職員、ご家族)、地域で感染が拡大する事がありました。その際は嬉の里の各部署からの応援に支えられ終息しています。令和７年３月にはノロウイルス感染者、疑いも含めると数名ありましたが、最小限に防ぐことができました。

令和７年度についてはデイサービス職員の一人一人の力を引き出して「グループからチームへ職員同士の声掛けを活発に組織における相互理解を深める」を部署目標としています。

２.重点実施事項の取組と成果

（１） サービスの質の向上

① 食支援室コラボ企画（四季に合わせた、ウチナー料理、おやつ作り)、ビューティーケアコラボ企画（地域公民館等で実施しているエステ等）を毎月実施しました。

② 前年度に始めた生活リハビリポイントカードを使い、ソナーレカフェのデザート券やエステ券を楽しみに生活リハビリを楽しまれる、ご利用者が増えました。

③ アンケート（利用者満足度、ニーズ）を３月に実施しました。ご利用者、ご家族にアンケート回答を頂きました。特に多かった要望を活動に取り入れる事が出来ました。（ドライブ、園芸活動等）

④ くつろぎスペースに雑誌等を揃えてご利用者へ提供しています。（ご利用者の将棋スペースとしても活用されています）

⑤ 毎月の活動表を作成。活動も充実し、ご家族から活動内容もわかりやすく、ご家庭で会話のきっかけ作りとして良いと高評価頂いています。

⑥ リハビリの一環として個別に外出支援を月に２回程度、実施しています。

（２） 職員の資質向上

① ご利用者の視点になってもらい３名の職員がデイサービス体験利用研修実施。

② 法人の委員会主催研修（オンライン研修、対面型研修、紙面含む)、沖縄県施設支援グループ主催研修、社会福祉協議会主催外部研修など活用し職員の資質向上に取り組みました。

③　交通安全指導研修を開催。車両でのヒヤリハットや事故を起こした職員が参加し事故の防止、安全意識を高めました。

④　東部消防組合消防本部講習会　普通救命講習修了証取得（3 名）

（3）　地域貢献・地域連携

・東新川自治会清掃活動へ参加

（4）　インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス感染５類移行の対応について

①　感染症委員会は継続的に毎月活動を行い 6 月と 12 月の 2 回研修を開催し、新型コロナウイルス感染症の予防対策や改善策について協議しました。
南部保健所高齢者施設向け感染対策研修、法人 BCP 感染対策机上訓練開催。

②　ご利用者には自宅での検温、体調確認の協力依頼と乗車前の体調確認でダブルチェックを行いました。ご利用者やご家族、職員の健康管理を行うことで、感染拡大予防に努めました。

３.サービス提供実績

（1）　サービス提供実績（定員 35 名）

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	308
延べ人数	733	708	702	701	641	534	601	699	714	710	714	726	8,183
1 日平均 利用者数	28	26	28	25	23	21	22	26	28	29	29	27	26
平均介護度	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2

（2）　算定加算

【要介護】

- 入浴介護加算Ⅰ・・・・・・・・・40 単位/1 日につき
- 個別機能訓練加算Ⅰイ・・・・・・56 単位/1 日につき
- サービス提供体制強化加算（Ⅰ）・・22 単位/1 回につき
- 科学的介護推進加算・・・・・・・・40 単位/1 月につき
- 介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）・・・・所定単位数の 9.2%

【要支援　日常生活支援総合事業】

- ○サービス提供体制強化加算（Ⅰ）・・
  対象者：要支援 1（88 単位/1 月につき）
  対象者：要支援 2（176 単位/1 月につき）
- ○科学的介護推進加算・・・・・・・・40 単位/1 月につき
- ○介護職員等処遇改善加算Ⅰ・・・・・所定単位数の 9.2%

（3） 日常生活動作状況

日常生活動作		男 性	女 性	合 計
移動手段	自立（手引き・杖使用を含む）	15	30	45
	歩行器・シルバーカー	3	5	8
	車椅子	2	9	11
食事	自立	17	39	56
	一部介助	3	3	6
	全介助	0	1	1
	経管・胃ろう	0	1	1
排泄	自立	7	13	20
	トイレ使用 （一部介助）	8	24	32
	トイレ/おむつ併用 （介助）	5	6	11
	おむつ使用	0	1	1
入浴	個人浴槽	0	0	0
	特殊浴槽（シャワーチェアー）	16	30	46
	特殊浴槽（ストレッチャー）	0	1	1

4.リハビリ活動報告

生活リハビリ、マッサージ（ほぐし）、 関節可動域訓練、日常生活動作訓練(座位姿勢の調整、座位保持訓練、歩行訓練）筋力運動、屋外歩行訓練、平行棒（体操、立ち上がり） 口腔体操・発声音楽療法 外出買い物支援、プロ野球観戦、海岸砂浜歩行訓練、バランス運動

５.行事 ・レクレーション

月	行 事	月	行 事
4 月	お花見 ・ドライブ	10 月	運動会 ・杵柄講座・産業まつり
5 月	母の日会	11 月	焼き芋会・杵柄講座・外出支援
6 月	父の日会	12 月	クリスマス会・杵柄講座・生け花会
7 月	千尋会夏祭り・流しそうめん会	1 月	書初め・正月遊び・初詣・餅つき会
8 月	遠足・外出支援	2 月	ドライブ（花見）・バレンタインデー
9 月	敬老会	3 月	ホワイトデー・料理会

※誕生月には、ご利用者の好みに合わせ個別にプレゼントを贈り、お祝いをしました。

※季節ごとに壁画作りなどをご利用者と一緒に作成しました。

※毎月、食支援室コラボ企画でおやつ作り・ビューティーケアコラボを実施しました。

６.健康管理

項　目	内　容
日常の健康管理	血圧測定、脈拍測定、検温（入浴前、訴え時、不活発時、不安定期）、酸素飽和度測定、必要時、情報提供作成、受診後の情報共有、リハビリ介助、水分チェック
服薬管理	薬剤情報管理、服薬介助、軟膏塗布、点眼薬
医学管理	在宅酸素療法、喀痰吸引、経鼻経管栄養処置の援助、血糖値測定、インシュリン注射
医療機関との連携	主治医との電話等による状況報告、指示による医療処置及び搬送調整
予防接種	新型コロナウイルス予防接種　有無確認。 インフルエンザ予防接種　有無確認。
褥瘡対策	日常在宅で考えられる看護処置、褥瘡に対しては栄養状態、適切な処置により治癒促進を図る。褥瘡のある場合は家族、主治医と連携し処置を行う。
口腔ケア指導	義歯の有無、食後の口腔ケアチェック、歯ブラシの清潔チェック、口腔ケア困難事例講習（歯科衛生士より指導）
緊急時の対応	家族へ連絡し救急搬送を行う。

嬉の里居宅介護支援事業所

1. 総括

新型コロナ５類移行後は、地域包括支援センターから心身機能低下を防ぐことを目的とした介護相談、担当依頼が増えました。また、居宅パンフレットを作成し、南風原町地域包括・那覇市地域包括城西・南部徳洲会病院へ配布、新規獲得に繋げる事ができました。

令和５年４月に発足した田崎グループ在宅系部門連携会議に今年度から新たに居宅も加わり居宅、通所部門の連携が強化され在宅生活支援に取り組んでいます。

２．重点実施事項の取組と成果

（１）利用者や地域のニーズに対応した質の高いケアマネジメントの推進及び社会貢献

- 地域にある社会資源の情報を把握し事業所内で定期的な情報伝達会議の開催にて共有し、利用者へのケアマネジメントに活かしました。
- カスタマーハラスメント対策セミナー、生活困窮者世帯に対する支援、難病事例・多職種支援についての対応力向上のため、研修や勉強会に参加しました。
- 昨今カスタマーハラスメントに関する意識向上あり、職員を守る視点から注意事項を重要事項説明書に記載しご本人・ご家族に説明し同意を得ました。

（２）リスクへの対応力強化

- BCP（業務継続計画）に沿って訓練・研修を行いました。独居利用者の安全確保、避難経路の把握、避難方法など課題を確認出来た。
- 沖縄県等が開催する「沖縄県介護支援門員スキルアップ研修」BCP 作成研修に積極的に参加し BCP 作成の参考、見直しを引き続き行っていきます。

３．サービス提供実績

（１）　担当件数と算定加算

- 【要介護認定】

（単位：件）

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護１	16	17	20	15	13	13	16	15	11	19	19	18	192
要介護２	16	17	17	19	19	18	18	19	18	18	18	20	217
要介護３	3	2	2	1	4	7	7	8	8	11	12	13	78
要介護４	5	5	6	6	6	6	9	7	7	7	8	7	79
要介護５	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
初回加算	6	5	2	0	8	1	4	2	4	1	3	2	33
退院退所加算	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5
入院時情報連携加算	0	0	1	0	1	5	2	0	2	1	3	3	18
ターミナルケア加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時情報提供加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定事業所加算Ⅲ	59	62	64	64	0	0	0	0	0	0	0	0	249

- 【要支援認定　総合事業対象者】

（単位：件）

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	13
介護予防支援	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	6	6	44
初回加算	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	7
委託連携加算	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	7

（２）　ケアマネ毎の月の担当件数数

担当 CM＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	24	24	28.5	24.5	28	27	27	28	28	29	31.5	30.5
B	9.5	13.5	18.5	19.5	17.5	18	23	22	25.5	26.5	30	32
C	7.5	6.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嬉の里居宅全体合計担当計	41	44	47	44	45.5	45	50	50	53.5	55.5	61.5	62.5

※要支援、総合事業認定者は、0.5

安心できる毎日を一緒に

嬉の里居宅介護支援事業所

ケアプランの作成からサービス調整まで、あなたの
「こうしたい！」を大切に一緒に考えていきます。

・どんな介護サービスが利用できるかわからない
・介護サービスを受けたいけど手続きがむずかしそう
・家族とどう話し合えばよいかわからない　など

〇サービスの流れ
・まずは電話や訪問で、お困りごとや
ご希望をお伺いします。
ご本人やご家族の意見を伺いながら、ケアプランを作成します。
下記まで、お気軽にご連絡ください
私たちと一緒に、安心できるくらしを始めましょう！
対象地域：南風原町、那覇市首里近辺
お気軽にお問合せください

社会福祉法人千尋会
嬉の里居宅介護支援事業所
南風原町新川５３８
０９８－８８８－０５９１
音声ガイダンス４番